

目黒区の元気!

目黒区議会議員 小林かなこ

かなこ元気NEWS

ニュース



発行 目黒区議会議員 小林かなこ 〒152-0011 目黒区原町1-12-2-201 電話:03(6303)2628 FAX:03(6303)2632

令和3年1月発行

昨年は新型コロナウイルス感染症の影響で、外出自粛や学校の臨時休業、新しい生活様式の実践など、私たちの生活が一変した1年でした。しかし新年早々2度目の緊急事態宣言が発令され、私たちの暮らしに更なる変化が求められる事態となっています。

区ではワクチン接種準備のため、新型コロナ予防接種係を新設すると共に、減少している区の歳入確保の一環として総合庁舎中庭駐車場の有料化や、GIGAスクール構想による年度内の児童生徒1人1台の情報端末の整備完了など、コロナ禍においても着実に様々な政策を進めています。新しい生活様式の中でスタートした本年も様々な変化に即応し、目黒区のため、地域のためにお役に立つようしっかりと区政に取り組んで参ります!



令和2年・第4回定例会 一般質問

新しい日常生活における 区政再構築に向けた区の取組について

小林 質問 感染症の拡大を契機に社会全体でデジタル化の推進が加速しています。今年度設置された区政再構築検討会議ではデジタルトランスフォーメーション(DX)をはじめ、現在どのような検討が行われているのか進捗を伺います。



区長 答弁 組織、施設、業務改善の3分野においてワーキンググループを編成し、改善提案の作成に取り組んでいます。業務改善グループでは事務事業の抜本的見直しに向け、デジタル化の推進としてDXを見据えたICTによる業務改善や、区有データを活用した区民サービスの提供について検討を進めています。組織グループではDXによる改革の実現に向けた取組や、自然災害、感染症対策を踏まえた全庁的な危機管理体制の構築に向けて検討を行っています。

小林 質問 国の母性健康管理措置による妊娠中の女性労働者への対応も含め、感染拡大防止のために区が職員に対して現在も講じている対

応状況と課題を伺います。

区長 答弁 妊娠中の女性職員や基礎疾患等を有する職員に対して、医師等による出勤制限の指導を受けた職員からの申し出があった場合には在宅勤務を認めています。感染症対策としては、時差出勤や休憩時間の分散取得、週休日における勤務日の振替を継続しています。業務内容によっては在宅勤務に適さないものがあり多くの課題がありますが、課題の整理や在宅勤務の実施に向けた検討を行っており、本区としても在宅勤務等の取組の必要性を認識しています。

小林 質問 この先の感染拡大も想定して在宅勤務の具体的なルールづくりを進めるべきです。先月、災害時の情報共有のために管理職にタブレット端末が配布されましたが、労務管理やセキュリティー等の課題を整理してからテレワークに使ってみるなど、出来ることから試行し、随時検証しながら区全体の働き方改革を進めてはいかがでしょうか。

区長 答弁 今般私どもはタブレットを管理職、防災担当の職員に貸与しまして、それをテレワークに活用するというのは、新たに機器を購入しないという非常にグッドな提案だと思います。今のところ区のシステムとタブレットがリンクしておりませんので、今後はシステム対応にお時間をいただければと思いますが、ご指摘の通りぜひ使っていきたいと思っています。



令和2年・第4回定例会 **一般質問**

クラフトビレッジ西小山について

小林 質問 クラフトビレッジ西小山でイベントが行われる際には近隣住民へ周知がされていますが、音に関しては苦情が出ています。区として今後どのような対応を要望していくのか伺います。

区長 答弁 オープニングイベントではご指摘の通り音に関して3件の苦情がありました。区としては、イベントを開催する際には近隣への開催案内の配布や現地に掲示するなど事前に周知すること、施設に直接面する方には訪問して説明することなど出来る限り配慮するよう指導を行なっています。今後のイベントの際には苦情が出ないように、改めてUR都市機構や事業者に対して要請して参ります。

小林 質問 クラフトビレッジ西小山には自転車で訪れる方も多いです。安全上の観点から、敷地内には暫定的な駐輪場が必要だと考えますがいかがでしょうか。

区長 答弁 オープン時には多くの方が自転車で来訪され、周囲の道路に自転車が置かれていた状況でした。区としてはUR都市機構に対して駐輪スペース確保の検討を要請し、暫定的に15台程度のスペースを敷地内に確保しました。今後も多くの自転車利用の来訪が見込まれることから、常設の自転車駐輪場の整備についてもUR都市機構と協議して参りたいと思います。



▲クラフトビレッジ内の駐輪場

令和2年・第4回定例会 **一般質問**

目黒区無電柱化推進計画について

小林 質問 無電柱化を推進するには地域住民との合意形成が必要不可欠です。区は「目黒区地域街づくり条例」を活用して支援するとしていますが、どのように地域住民に働きかけていくのか伺います。

区長 答弁 本年8月に策定した無電柱化推進計画では、街づくりに併せて無電柱化の検討を行なっている原町一丁目等の地区も整備目標としています。条例の周知の他、各地域で進められている街づくりの取組の中でも活用を働きかけ、街づくり事業を進める中で地域住民等と調整、連携を図りながら無電柱化を一層推進していきます。

かなコラム

冷蔵庫に入れて、
もしもの時も安心!

目黒区では東京消防庁と協力し、一人暮らしの高齢者、障害のある方、その他必要な方に医療情報や緊急連絡先を入れた「防災・救急医療情報キット」を配布しています。キットは冷蔵庫に保管し、駆けつけた救急隊員等がここから情報を確認、迅速な救急活動・支援活動に繋がります。地域包括センターや区の福祉総合課で配布しています。



小林かなこ 公式SNS
日々情報発信中!



公式HP
「目黒区の元気」で検索!
FBもインスタも見られます!



Facebook
日々の活動はこちら!



instagram
「小林かなこInstagram」で検索
すればPCでも見られます!



STOP
コロナワクチン詐欺!

行政を名乗ってワクチン接種の予約を取ると言い、後日返金するという電話が区内で相次いでいます!
これは詐欺!不審な電話やメールはすぐ110番を!

プロフィール 筑波大学卒。区議会議員現在2期目。自民党目黒区議団副幹事長。
大学卒業後から米国で日本語教師助手を勤めるなど、日米間の教育事業に長年従事。
空手3段、防災士。原町1丁目町会、目黒消防団第8分団ほか。

